

共テ古文、ゼロ、から漢詩講座／第一講 文法問題編

ナムリ題のビビリ題やだれ女法の穂冠題のペターハイのハーベ

① ハーバード語分解でセント

卷之三

② 助動詞や助詞の主な意味を語彙欄に記述

→()が焦点になれる

井の用例の適用形が見えていくんですが、何形かわかると何がいいのか…

① 下にある()がわかる

8

②勝手に（ ）されて、この部分を理解できる。

【ポイント② 譜別問題の基本】
譜別の基本は用ひの（ ）。

〔動詞せんじやせんじ〕
動詞の()は既に語と互通じなので、ルーチセグースになります。
→「」の上に来る形から「」と書く。

（）の句の意味 → へ意味す。
（）の句の意味 → へ意味す。
（）の句の意味 → へ意味す。
（）の句の意味 → へ意味す。
（）の句の意味 → へ意味す。

(例題1)

物語第③～④といひての文部省認可によるものである。〔#虚偽小口説〕

「次の①～⑥」

① 公事をし合ひあべかねば
② 嘘ひ嘆かれしを
③ 二たまつねいたりな
④ 今年十年をこ年十一年をなれど
⑤ 今十年をこ年十一年をなれど

④ 愛ひ慕かれしを

④の間にあても

⊕あり果てぬ世にせあれども

①@「れれ」せ、輪宿の次用語題に、元の動詞「レ」の口蓋形が
無音化した。

無縫したもの。

接続したもの。

③④「りな」が動詞の済用語尾に完了の助動語「ぬ」の未然形方接続したもの。

接続したもの

連体形が接続したもの。

⑤ ⑥ 「へる」が動詞の適用語句で完句の並転語、この複合形が接続したもの。

接続したもの

⑥ ⑤ てぬは完了の助動語「」の未然形に打消の助動語「す」の連体形が接続したもの。

連体形が接続したもの。

(解說)

1 動詞を深めて、その形を考究する。

Ⓐ (なむ)なれれば→なむ・ま→()の音→()で切る

Ⓑ サシ合ひぬべかぬ→サシ合せ・す→()の音→()で切る

Ⓒ おいたりなば→おいたり・ま→()の音→()で切る

Ⓓ 嘆かれしを→嘆か・す→()の音→()で切る

Ⓔ あへるむ→あは・す→()の音→()で切る

Ⓕ あり果てぬ→果て・す→()の音→()で切る

（共通）
①の「スケルトニ」スケルトニの意味が入、スケルトニの字、スケルトニ。

2 動詞を切って、選択肢をチェックする

① 動詞の活用語尾 + 物の助動詞「る」の「」の「」 → ()
 ② 動詞の活用語尾 + 物の助動詞「ぬ」の「」の「」 → ()
 ③ 動詞の活用語尾 + 物の助動詞「ぬ」の「未」 → ()
 ④ 韻文の助動語「る」の「」 + 過去の助動詞「た」の「」 → ()

ところが、今回のこの問題は、動詞の切り方だけで解けます。共にではこのやつな問題は提出せんが、動詞が何形かわかると助動詞の把握と文脈把握の大きなヒントになりますので、覚えましょう。

〔歴史の歴史学〕

・ 基本は「ドア」を付けて判断する。一部除外した場合一二ダメなモノがある。

・「**アキ**」**アキ**は付けて**アキ**に**アキ**を**アキ**が**アキ**無**アキ**。
 ① 食**アキ**く 食**アキ**く 食**アキ**く 食**アキ**く 食**アキ**く 食**アキ**く
 ② 食**アキ**く 食**アキ**く 食**アキ**く 食**アキ**く 食**アキ**く 食**アキ**く
 ③ 借**アキ**る 借**アキ**る 借**アキ**る 借**アキ**る 借**アキ**る 借**アキ**る
 ④ 恋**アキ**ふ 恋**アキ**ふ 恋**アキ**ふ 恋**アキ**ふ 恋**アキ**ふ 恋**アキ**ふ
 ⑤ 吹**アキ**ふ 吹**アキ**ふ 吹**アキ**ふ 吹**アキ**ふ 吹**アキ**ふ 吹**アキ**ふ
 ⑥ 田**アキ**る 田**アキ**る 田**アキ**る 田**アキ**る 田**アキ**る 田**アキ**る

次に形容詞についてです！ 現代語では「美しい」とか「涼しい」とか、語尾が「-い」で終わることですが、古文では「-ビ」が終ります。「美しい」→「美シ」、「涼しい」→「涼シ」となり、單に「ニ」をつけたものが「二美シ」のやつになります。

形容詞の活用は動詞のやひに色々はなって、「ク活用」と「シク活用」の二種類だけです！ 具分け方もシングルで、後ろに「-ビ」を付けて判断する。「暑ニ→「暑ぐくなる」=「ク活用」、「美シニ→「美しぐくなる」=「シク活用」と二つ整理します。

どうい活用するかも、ワントーンなので、品文のよひに随分と覚えておこう！

基本形	語幹	未然	連用	終止	連体	已然	命令
暑	暑						
し	シ						
二	ニ						
美	ミ						

↑本活用
↑補助活用

左の補助活用の下に
みで下の
終助詞、

〔形容語 + なむの識別〕

- ① 花美しくなむ → () 「花が美しく……」
- ② 花美しかりなむ → () 「花が美しかった」

「ひいがすと、美しこじゆうが」

(例題2)

問、「思おしかったが、」の文法語としと最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選べ。 (センター1101-1111題)

①「思おしかったが、」の形容語。
②「思おしかったが、」の動詞。
③「思おしかったが、」の副詞。
④「思おしかったが、」の形容語。
⑤「思おしかったが、」の動詞。

⑥「思おしかったが、」の副詞。
⑦「思おしかったが、」の形容語。
⑧「思おしかったが、」の動詞。

⑨「思おしかったが、」の副詞。
⑩「思おしかったが、」の副詞。

問、「思おしかったが、」の動詞。
①「思おしかったが、」の形容語。
②「思おしかったが、」の副詞。
③「思おしかったが、」の副詞。
④「思おしかったが、」の形容語。
⑤「思おしかったが、」の副詞。

(解説)

①「かり」の用法は次の二つ。

→ ①「かり」を確認。

〔形容詞のナックル〕
「かり・かり・かり・かり」
やらしいの下に付ける
(未然形の下に付ける)
〔アジャーナー〕
→ 次の語形の
「アジャーナー」
が来る。
(形容詞も)

「かり・かり・かり・かり」が来る。()
①・②・⑥が選べ、③④⑤を除外。

②「かり」の用法は次の二つ。

→ ①

〔形容詞の動詞〕
「かり」は「運動の動詞」として用いられるが、これは「かり」の「走る」の「走る」として用いられる。()
⑤「走るしかった」の下に動詞が付く。()

「走るしかった」が正解となる。

③ 残りの選択肢もチェック！

①「来る」が動詞だとすると、「」なので、「」

で
切
る

【ポイント⑫】活用形からわかること

未然形 「へす」	(形) 未然形 「へす」	一 ～ それではな。てなに形 一
連用形 「へたら」	(形) 連用形 「へたら」	一 ～ ～ ～ ～ ～ ～
下の形 「へる」	(形) 下の形 「へる」	一 ～ ～ ～ ～ ～ ～
下がる動詞 「へる」	(形) 下がる動詞 「へる」	一 ～ ～ ～ ～ ～ ～
謝る形 「へる」	(形) 謝る形 「へる」	一 ～ ～ ～ ～ ～ ～
未然形 「へす」	(形) 未然形 「へす」	一 ～ ～ ～ ～ ～ ～
連用形 「へす」	(形) 連用形 「へす」	一 ～ ～ ～ ～ ～ ～
下の形 「へす」	(形) 下の形 「へす」	一 ～ ～ ～ ～ ～ ～
下がる動詞 「へす」	(形) 下がる動詞 「へす」	一 ～ ～ ～ ～ ～ ～
謝る形 「へす」	(形) 謝る形 「へす」	一 ～ ～ ～ ～ ～ ～